

— 広 告 —

KIT
キャンパス
レポート ⑧
文・杉村裕之



志田 愛斗 (しだ まなと)
金沢工業大学
工学部
情報工学科三年
福井県立坂井高等学校出身

サイバー防犯ボランティアで 高市首相から表彰の頑張り屋

悪質化、巧妙化するフィッシング詐欺などのサイバー犯罪。その被害抑止に取り組むKITサイバー防犯ボランティアが昨年十一月、高市首相から「安全安心なまちづくり関係功労者表彰」が贈られた。同ボランティアは、情報工学科の課外プロジェクト「情報セキュリティ・スキルアッププロジェクト」の有志が代々、担ってきた。石

監督兼カメラマン兼、体調を崩した後輩の代役もすることになりまして」と謝りながらやって来た。よくしゃべり、よく笑う、人懐こい好青年である。

観察眼にも優れ、気遣いができる。私がネットワークの知識に疎いと察すると、すかさず専門用語をかみ砕いて平易に説明してくれた。「どんなにいい作品をつくっても、伝わらなければ意味がありません。そこが一番悩むところだし、やりがいにもなります」。サイバー犯罪をよく知らない人でも理解できるよう、映画やアニメ、ユーチューブを見て演出の参考に

するそうだ。そんな相手ファーストの根にあるのは、「人の役に立ちたい」「喜んでほしい」という優しさだ。プロジェクトでは、新入生のメンバーが困惑しないよう、自身の経験を元に基礎的な知識から身につけるプログラムに変更した。趣味の

料理を聞いた時も、「友達に『おいしい』』と言ってもらえるのが嬉しくて、新メニューに挑戦しています」。語り口と表情は幸福感に満ちていた。

現在、中沢実研究室に所属し、卒業研究のテーマを探っている。「体の機能を向上、補完する身体拡張を、キャラクターの尻尾やケモ耳を使ってやってみたい」。目線に宿すのは、やはり弱者への温かさだ。

家族思いでもある。弟や妹の進学を見据え、家計に負担をかけたくなないと奨学金とアルバイトで頑張ってきた。来春には、ネットワークや組み込みシステムに関する企業で、エンジニアとして活躍する青写真を描く。

自分本位の刺々しさが目につく社会に、志田さんのような存在が闇を照らす光明となる。

金沢工業大学

石川県野々市市扇が丘七二
電話番号(〇七六)二四八二〇〇